

2-5 インターネットを通じた情報の共有

2-5-1 アジア防災センターのウェブサイト

アジア防災センターでは、図 2-5-1-1 のように、「最新災害情報」、「多国語防災用語集」、「防災トレーニング情報」、「防災人材情報ネットワーク」、「(防災関係) 会議・学会等御案内」、「メンバー国及びアドバイザー国の防災情報」、「ニュースレター」、「メンバー国レポート」、「NGOアジア防災・災害救援ネットワーク (ADRRN)」、「(防災関連) 文献データベース」、「「阪神・淡路大震災データベース」、「災害情報センターデータベース」の 13 の防災情報データベースを構築している(URL <http://www.adrc.or.jp/>)。また、防災インターネットGISである「VENTEN」を公開している(URL <http://venten.adrc.or.jp/>)。

また、国連国際防災戦略 (ISDR) の紹介を行っており、さらに世界中で発生する災害の統一番号である GLIDE (GLobal disaster unique IDentifier number) の検索とオンライン登録を実施している災害情報生成・検索サイト「GLIDENumber.net」(URL <http://glidenum.net/>) の本格運用を 2004 年 5 月から開始し、この他「被災地画像情報」を実験運用中である。

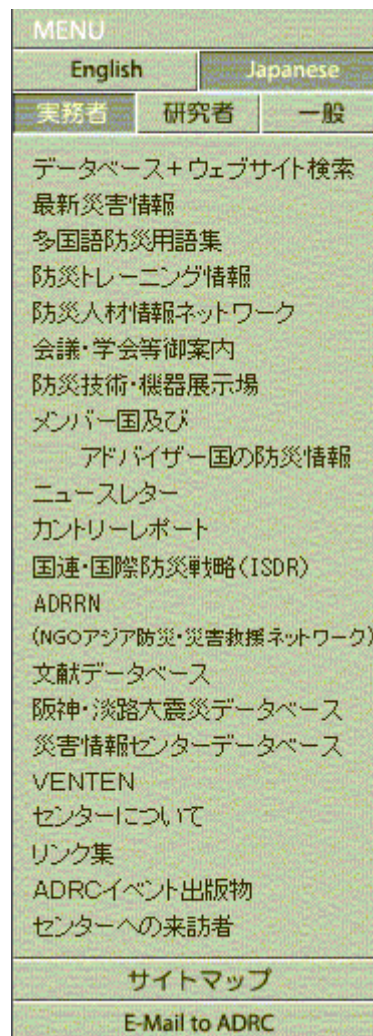


図 2-5-1-1 ADRC の WebMenu

図 2-5-1-2 に示すように、これらの防災情報はそれぞれデータベースの形で情報を蓄積しており、インターネットを介してリクエストがあると、そのデータベースから情報を取り出し、どのような色やレイアウトでユーザーに見せるかを記したインストラクション(教示書)を参考にしながら、ユーザーへハイパーテキストの形式の情報を伝えている。

情報そのものをデータベースに、レイアウト等をインストラクションにそれぞれ独立させておくことで、データ管理者をレイアウト設定の煩雑な作業から解放し、

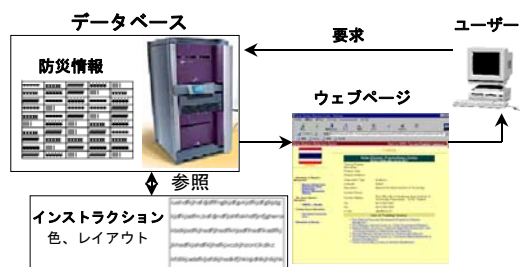


図 2-5-1-2 データベース連動型 Web

かつユーザーのニーズや技術革新の進歩に応じてレイアウトを一括して自由に変更することもできる。また、このようにデータベース管理とすることで、情報のカテゴリ別、国別の2種の扉をユーザーに対して用意することができ、情報へのアクセスを容易にするためのディレクトリを提供することが可能になっている。

ここでは一例として、最新災害情報について解説を行う。これは、現在起きつつある災害に関する情報を、できるだけ早く集めて発信するものであり、国連やメディアによるウェブで発信されているレポートをピックアップし、その要約を作成するとともにオリジナルの情報へリンクを貼っている。図 2-5-1-3 に示すように、この情報はそれぞれの災害毎のテーブル(表)、レポート毎のテーブルの二つの表によって管理されている。この表に蓄積された情報を基に、ユーザーからのリクエスト(どの災害についてのレポートを表示したいか)に応じて必要な情報が抽出され、教示書のレイアウトに従ってレポートが作成される。

更新作業は、図 2-5-1-4 のようにインターネットを介して遠隔地から行うことができる。今年度より、全てのデータベースについて、一部の機能を除き Web ページ経由で情報更新が可能となった。これにより、より正確な情報提供と速やかな情報更新が可能となった。

最新災害情報のデータ収集及び登録は、センター員及びアルバイトにより運営されており、災害発生から情報収集登録までの時間を短くできるようにしている。2004年12月26日にインドネシアのスマトラ島沖で発生した地震及びインド洋諸国に甚大な被害をもたらした津波が発生した際には、当サイトが Yahoo ニュースから直接リンクされていたため、ADRC のウェブに対するアクセスは1時間当たり 100,000 件となった。

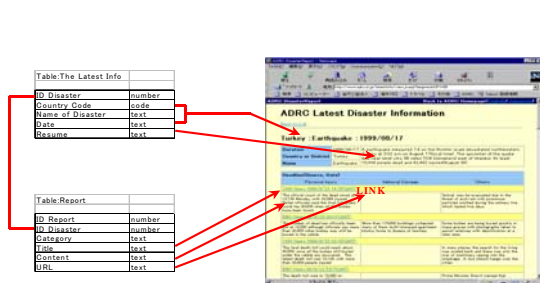


図 2-5-1-3 最新災害情報のデータベースと画面のレイアウト

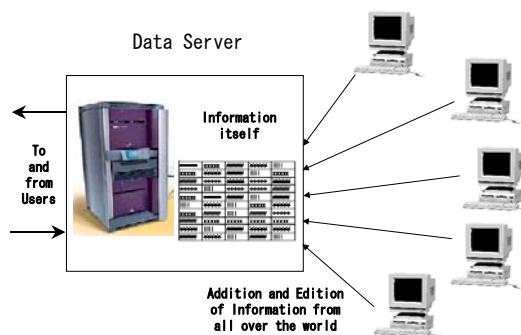


図 2-5-1-4 インターネットを利用した遠隔地からの情報更新

ADRC のウェブサイトの利便性を高めるために以下のような対応を行っている。

- ① ユーザーを実務者、研究者、一般に分類しそれぞれが使いやすいメニュー
- ② 通信インフラによって使い分けるために画像主体ページとテキスト主体ページの二重構成
- ③ 英語ページと日本語ページの二重構成
- ④ 上記①～③の条件は閲覧者が任意に選択可能

これを実現させるためにエントリーページを設置してある（図 2-5-1-5 参照）。

Welcome to the Asian Disaster Reduction Center(ADRC) web site
--- Entry Page ---

Selection of ADRC website display form			
Language	<input checked="" type="radio"/> English	<input type="radio"/> Japanese	
Display form	<input checked="" type="radio"/> Graphics	Text (Under preparation)	
User classification	<input checked="" type="radio"/> Professional use	<input type="radio"/> Academic use	<input type="radio"/> General use
<input type="button" value="ENTER"/>			
DB + WWW search Select Language <input checked="" type="radio"/> English <input type="radio"/> Japanese			
Keyword <input type="text"/>		<input type="button" value="SEARCH"/>	
Topics			
02/04/12	An earthquake struck north of Afghanistan's capital.		NEW

図 2-5-1-5 エントリーページ

また、クリックブルマップ¹を活用したページ内の情報の視認性が高いトップページを採用し、最新の災害発生位置を地図で確認できる。さらに、当サイト内の情報量が増大しており必要な情報を容易に入手するために、ADRC内部及び外部サイトを検索する強力なサーチエンジンを設置している（図 2-5-1-6 参照）。

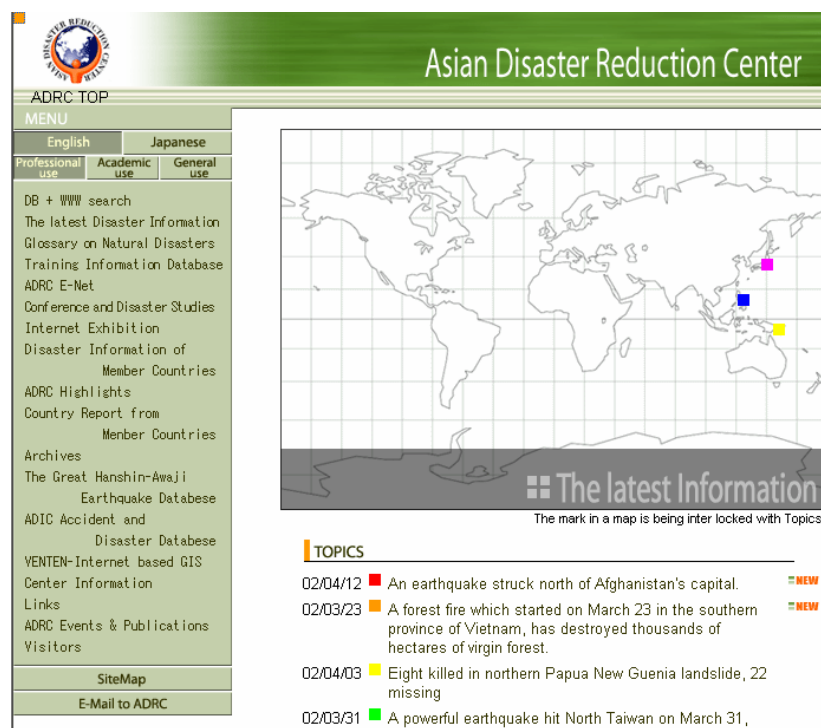


図 2-5-1-6 ADRC トップページ

ADRC ウェブページアクセス数については、管理方式の変更により、昨年8月からの推移を図 2-5-1-7 に示す。12月26日に発生したスマトラ島沖地震とインド洋津波をきっかけに、大量のアクセスが発生した。（図 2-5-1-7 参照）。

なお、インターネットの検索エンジン Google によると、「アジア防災センター」による検索結果は約 6,240 件、

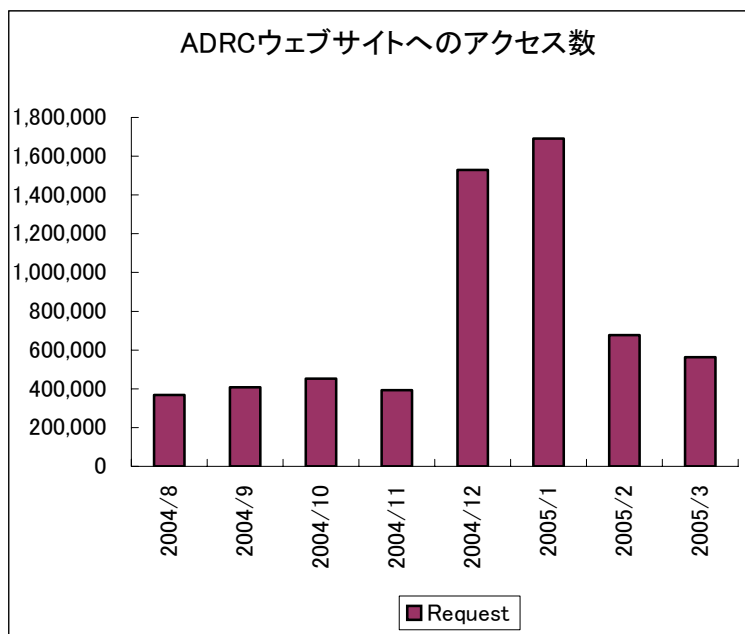


図 2-5-1-7 アクセス数の推移

¹ クリックブルマップ：Webブラウザの持つ機能の一つ。画像の中に色々なリンク先を設定しておき、クリックした位置に応じて定められたリンク先に移動する機能。また、その機能を持った画像のこと。1枚の画像の中に複数のリンク先を設定できるため、地図の画像を利用したWebサイトや、Webページの上部や左部に配置されるメニューなどで利用される。

「Asian Disaster Reduction Center」による検索結果は約 110,000 件であり、昨年よりも日本語で約 3.5 倍 (245%増)、英語で約 2 倍 (92%増) となっている。

2-5-2 最新災害情報データベース

災害が発生すると、マスメディア、中央・地方政府、国際機関、NGO などさまざまな機関が被災地の被害状況や救援に関する情報を発信する。しかし、こうした情報はそれぞれ個々に発信されているために、必要な情報を集約するためには時間がかかってしまう。アジア防災センターでは、これらの情報を一覧して入手できるように、ウェブ上で発信されている情報の要約を作成するとともに、オリジナルの情報へのリンクを張った最新災害情報データを公開している。具体的な提供情報としては、災害概要（発生日、発生地域、概略）、被害概要、関連リンク情報（関連レポート・記事、地図情報、緊急援助関連情報、協力者からの情報、画像データ）に加え、2002年度からはインターネット GIS 防災情報プラットフォーム「VENTEN」を利用した災害発生地の地図情報の提供を行っている。2005年2月末現在、約800件の災害情報を提供している。

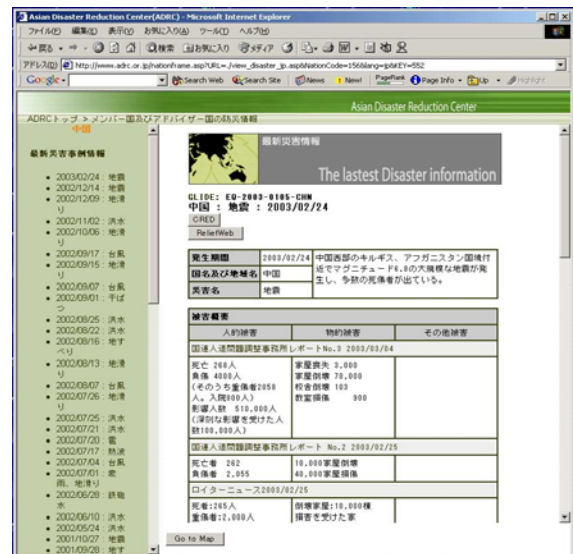


図 2-5-2-1 最新災害情報ウェブページ

2-5-3 多国語防災関連用語集

アジア防災センターでは、1990年に始まった国連の「国際防災の十年 (IDNDR)」の活動を通じて編さんされた多言語による防災用語集(日本語、英語、スペイン語、フランス語、中国語)をより広く多くの人々に利用できるようにする目的で、ホームページ上で中国語をのぞく4ヶ国語防災用語集としてデータの提供を行ってきた。

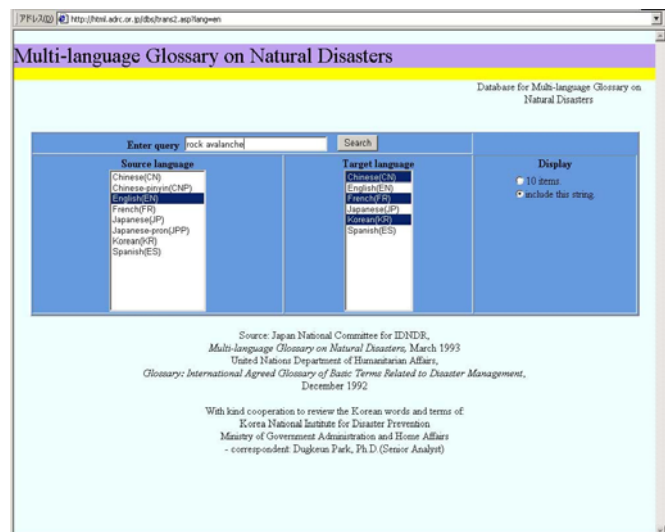


図 2-5-3-1 多国語防災関連用語集

2002年度からは、中国語の用語をデータベース化するとともに、韓国行政自治省国立防災研究所の上級アナリストである Dugkeun Park 氏の協力を得て、韓国語の用語集を編さん、データベース化を実施し、6カ国防災関連用語集としてウェブ上で公開している。

この用語集には、通常の辞書では見つかりにくい防災関連の専門用語などを中心に約 3,200語が収録され、防災に関する数値データや技術資料、研究成果などの共有を深めることに寄与している。

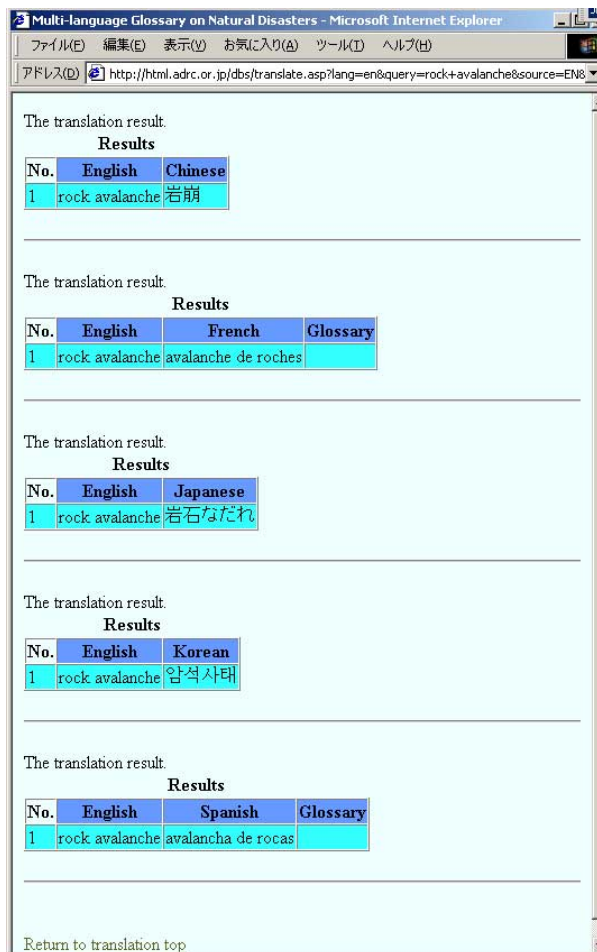


図 2-5-3-2 対応する 5ヶ国語の翻訳語表示

2-5-4 ニュースレター「ADRC Highlights」の発行

アジア防災センターでは、メンバー各国等との情報共有推進のためのツールのひとつとしてインターネットや電子メールを活用した情報発信を行っているが、その代表的のものが、1999年6月1日より、月2回のペースで発行しているニュースレター「ADRC Highlights」である。ニュースレターは、Web上で公開する一方、Eメールで、ADRCのカウンターパートをはじめ、過去のADRC専門家会議参加者、内外のADRC関係者、ADRCへの来訪者、ADRCが参加した国際会議の他の参加者などに日本語、英語で発信している。

発信者リストに登録者の推移としては、2005年3月末時点で日本語版504名、英語版1,640名、ロシア語版74名となり、前年度より人数ベースで130名以上の増加となった。

掲載内容としては、ADRCの最新の活動紹介や同スタッフが参加・発表した国際会議等のレポート、さらにADRC外国人客員研究員による国別報告などを取り上げてきた。ADRCスタッフが国際会議などの場でニュースレターの内容について質問を受けることもたびたびあり、またEメールでのニュースレターの発信直後に反響が返ってくることも多く、情報共有の推進にも役立っていると考えられる。

表 2-5-4-1 平成 17 年度発行 ADRC ハイライト記事詳細

号数	発行日	メイン記事	その他の記事
90	4/1	自然災害軽減に関する世界会議が2月19-22日、インド・デリーにて開催	国際防災オープンフォーラムが3月23日国連大学にて開催、100名強が参加 アジア最新災害情報：トルコの地震 お知らせ：ADRC吉村主任研究員が異動
91	4/16	アメリカ合衆国がADRCのアドバイザー国として加盟	第31回WMO/ESCAP熱帯性サイクロン委員会がスリランカのコロンボで開催 ADRCスタッフ紹介(No.17) 主任研究員石井 琢三
92	5/1	ADRCメンバー国共同プロジェクト:国際都市捜索救助トレーニング(シンガポール)	2003年度JICA防災行政管理者セミナーを実施、成功裏に終了
93	5/16	第9回ISDRタスクフォース会議が開催	国連防災世界会議準備委員会第1回会合が開催
94	6/1	2003年度ADRCメンバー国共同プロジェクト:モンゴル国都市地震防災セミナー	ADRC客員研究員の紹介：ラフモノフ・シュフロブショー研究員(タジキスタン) アジア最新災害情報：ミャンマーの暴風と洪水
95	6/16	ADRCがJICAからの依頼によりバングラデシュ地震防災調査を実施	ADRC客員研究員の紹介：グエン・ハン・フーン研究員(ベトナム) 世界災害共通番号(GLIDE)に関する専門家会合が5月3日、ジュネーブにて開催

号数	発行日	メイン記事	その他の記事
96	7/1	アジア防災センターがトルコにおける防災行政管理者向けセミナーをプログラム開発・実施	ADRCスタッフ紹介 (No.18) 主任研究員寺西章浩 第3回アジア地域防災協議会がフィリピン・マカティ市で開催 国連防災賞のお知らせ
97	7/16	アジア防災センター所長が交代 GDIN2004 会議に参加、世界災害統一番号 GLIDE を紹介	ネパールの防災システムについて一元 ADRC 客員研究員レク・ナス・ポカレル氏からの寄稿記事 国際防災オープンフォーラムが8月24日国連大学にて開催
98	8/1	アジア防災センター新所長の就任挨拶	世界災害共通番号(GLIDE)の活用方法のご紹介
99	8/16	ADRC 新任客員研究員レポートー ユアン・イー研究員(中国)	NGO アジア災害救援・防災ネットワーク協議会がマレーシアで開催、ADRC が参加 8月24日開催の"国際防災オープンフォーラム"が間近に迫る、参加者を追加募集中
100	9/1	国際防災オープンフォーラムを8月24日、皇太子殿下ご臨席のもと開催	第11回 TIEMS 会合がオーストラリア・メルボルンにて開催、ADRC が参加・発表
101	9/16	ADRC 新任客員研究員レポートー ブアシー・タマサック研究員(ラオス)	ベトナム洪水ハザードマップ訓練への講師派遣 アジア最新災害情報：中国の暴雨と洪水
102	10/1	タジキスタン国で防災ワークショップを実施	第13回世界地震工学会議：バンクーバーで開催、アジア防災センターが参加・論文発表 国際防災ポスターコンクール作品募集
103	10/16	アジア防災センターがトルコ防災行政官向けセミナーを実施	中央アジア・コーカサス地域特設コース"防災行政"研修実施
104	11/1	アジア防災センター、フィリピン政府より防災功労賞"カラサグ賞"を受賞	台風委員会ワークショップが開催、ADRC が参加 兵庫県豊岡市での洪水被害現場を調査
105	11/16	ISDR 活動報告	新潟県中越地震の被害状況・緊急対策調査を実施 ADRC 新任客員研究員レポート・シャイム・サンダ研究員(インド)
106	12/1	“国連防災世界会議プレシンポジウム～みんなで考える 明日の防災～”を来年1月17日に開催	イランのテヘランで地震対策ワークショップを開催、同時に被災地バムを調査 アジア最新災害情報：フィリピンでの洪水
107	12/16	「アジア地域における総合防災政策と防災優良事例フォーラム」(1月19日開催)参加者募集中	1月17日開催の「国連防災世界会議プレシンポジウム」、好評につき参加者を追加申込み受付中 アジア防災センターが国連 OCHA とイラン政府共催の国際セミナーに参加、講演 ADRC への来訪者：内閣府村田防災担当大臣 アジア最新災害情報：フィリピンでの洪水

号数	発行日	メイン記事	その他の記事
108	1/1&16	アジア最新災害情報:インドネシア・スマトラ島沖の地震と津波	スマトラ島沖地震に伴うインド洋大津波被災国へ ADRC が調査ミッションを派遣
109	2/1	国連防災世界会議が成功裏に終了	「アジア地域における総合防災政策と防災優良事例フォーラム」が開催、210 名超が参加 「国連防災世界会議プレシンポジウム～みんなで考える 明日の防災～」が開催
110	2/16	アジア防災センターが JICA モデルタイプ調査団に参加	「総合的な防災政策—防災優良事例集—」が当センターの HP にて公開 国連防災賞募集のお知らせ
111	3/1	2004 年度 J I C A 防災行政管理者セミナーを実施、成功裏に終了	ADRC 客員研究員の紹介：ロス・ソーバン研究員（カンボジア）
112	3/16	インド洋津波早期警戒システムに関する国際調整会合がパリ UNESCO 本部で開催	ADRC 客員研究員の紹介：マラ研究員（ネパール） ADRC メンバー国共同プロジェクト：国際都市捜索救助トレーニング（シンガポール）